

令和5年度おもしろ環境まつり開催要項

1. 名称

おもしろ環境まつり

2. 日時

令和5年12月3日(日) 11:00から16:00

3. 場所

和歌山市みその商店街(和歌山市美園町5丁目アーケード周辺)

4. 趣旨

環境対策で欧米から遅れをとっていると批判されてきた日本も、ようやく世界と足並みを揃えるようになりました。とは言いながら、問題は山積、環境問題には気候変動以外のものもたくさんありますから複雑です。マイクロプラスチック問題、食品ロス問題、砂漠化、森林破壊、生物の絶滅、水や食の安全性の低下などは分かりやすい環境問題の一例です。いずれも解決するまでには長い時間が必要で、大人の世代から子供の世代へとバトンタッチしながら、自然と共生した人間社会を実現しなければなりません。このため「今の」「あるがままの」「未熟な」環境保全の実態を紹介し、未来を見据えた「和歌山」の市民や企業の「明るくポジティブな」挑戦を子供たちの世代に受け継いでもらいたい、その入り口になればという強い思いから、今年も「おもしろ環境まつり」を開催します。和歌山の未来、子供たちの未来は、環境も経済も暮らしも明るく、楽しいものになるんだと印象づけてもらうことを狙います。

「おもしろ環境まつり」のテーマには「エネルギー」、「食べものと水」、「資源循環」、「生物多様性の保全(生き物と仲良く暮らしていけるようにするための生物多様性保全)」、「気候変動対策」そして「防災(気候災害への対策)」などがあります。これまでの環境保全活動の多くは「我慢」と「お金のかかる技術」が中心でしたが、「面白さ」、「楽しさ」や「工夫」を通じて環境保全の必要性に気づいてもらいたい、そして未来の環境技術開発や施策への意欲を刺激させたいという思いを込めています。押しつけではない、子供たちが自発的に「環境保全は当たり前」と言える未来を実現するため、楽しみながら環境保全への理解を深められる内容としています。また、県内の小学生数千名それぞれが夏休みに考えて実践した環境に配慮した活動「わかやまこどもエコチャレンジ」の成果も紹介します。さらに、子供たちが地元和歌山で暮らし続けたいと思えるよう和歌山の魅力を紹介することも意識します。

ぜひとも、この趣旨にご賛同いただき、ご後援、ご寄附、ご出展、PRへのご協力、運営スタッフとしてのご参加、ご来場など、皆様方のご協力をお願いする次第です。

5. 出展内容及び規模(予定)

6つのテーマに関する展示

- ・ エネルギー
- ・ 食べものと水
- ・ ごみ「ゼロ」社会
- ・ いきもの(生物多様性の保全)
- ・ 気候変動対策
- ・ 防災(気候災害への対策)

特設サイトでのオンライン展示、エコチャレンジ紹介、ステージ発表、オンライン配信、特設サイトでのオンライン展示

6. 出展協力者

環境保全活動に取り組むNPO、市民団体、企業、自治体

7. 対象

小学生及び一般 (目標人数)のべ 2,000人

※最大収容人数を超えないよう来場、退場人数のチェックを行う

8. 主催等

○主催

おもしろ環境まつり実行委員会

○共催

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会(おもしろ科学まつり)

○後援(依頼予定)

○協賛(依頼予定・募集中)

9. 実行委員会名簿(敬称略・順不同)

		所属
委員長	中島 敦司	和歌山大学システム工学部
副委員長	志場 久起	和歌山県NPOサポートセンター
委員	大橋 友紀	サステイナブル・フォーラムわかやま
委員	井筒 博紀	一般財団法人和歌山環境保全公社
委員	檜村 健	エコネット紀中
委員	塚田 晃司	和歌山大学システム工学部
委員	黒井 成男	伊都・橋本地球温暖化対策協議会
委員	多田 祐之	紀南地域地球温暖化対策協議会
委員	中場 毅	和歌山県環境政策局
委員	道本 みどり	市民の力わかやま
委員	中川 皓次	紀の川市地球温暖化対策協議会
委員	なかむら いづみ	NPO法人和歌山有機認証協会
委員	仁藤 伸昌	近畿大学生物理工学部
委員	石渡 祥子	NPO法人わかやま環境ネットワーク
監事	城 保宏	ストップ温暖化岩出の会
事務局	白井 達也	和歌山県地球温暖化防止活動推進センター
事務局	楠本 延樹	NPO法人わかやま環境ネットワーク